

令和3年度 児童アンケート集計表		割合(票数÷合計)					プラス評価	マイナス評価
	項目	A	B	C	D	合計	A+B	C+D
1	学校へ行くのが楽しい。	72%	21%	3%	3%	100%	93%	7%
2	先生たちは、わたしたちの意見をよく聞いてくれる。	66%	31%	3%	0%	100%	97%	3%
3	学習で自分の考えをまとめたり、発表することがある。	55%	31%	14%	0%	100%	86%	14%
4	先生たちは教え方にいろいろな工夫をしている。	72%	24%	3%	0%	100%	97%	3%
5	学習でわからないことについて、先生に質問しやすい。	48%	34%	14%	3%	100%	83%	17%
6	先生たちは、学習で自分が努力したことを認めてくれる。	66%	31%	3%	0%	100%	97%	3%
7	体育の授業や運動会、かけ足記録会などの行事を通して自分の体力がついてきたと思う。	34%	41%	21%	3%	100%	76%	24%
8	ちがう学年と協力する「わんぱく班活動」は大切だと思う。	72%	21%	3%	3%	100%	93%	7%
9	地震や火災などがおこった時、どうしたらよいかを教えてもらっている。	75%	25%	0%	0%	100%	100%	0%
10	学習で大人になったときの職業(仕事)について考えることがある。	31%	41%	24%	3%	100%	72%	28%
11	学習で協力、奉仕(社会や人のためにつくす)、助け合いについて学ぶことがある。	48%	45%	3%	3%	100%	93%	7%
12	学級会では友達やクラス・学校のことについてよく話し合う。	41%	52%	3%	3%	100%	93%	7%
13	委員会活動はみんなの役に立っていて、やりがいがある。	69%	21%	7%	3%	100%	90%	10%
14	命の大切さや社会のルールについて学ぶことがある。	79%	21%	0%	0%	100%	100%	0%
15	自分を大切に、仲間への思いやりについて学ぶことがある。	66%	31%	0%	3%	100%	97%	3%
16	世界の国々のことや環境問題、いろいろな人たちの生き方について学習することがある。	54%	32%	11%	4%	100%	86%	14%
17	給食の時、栄養や食べ物について考える機会がある。	21%	45%	28%	7%	100%	66%	34%

※計算式によりA+B+C+Dの割合が100%にならないところがあります。

## 令和3年度 学校アンケート 児童自由記述の内容

- もっとみんなが協力できるようにもっとみんなで集まったりイベントをしたりした方がいいと思う。
- もっといろんなことを話したりすると仲が深まると思う。みんなが仲良くなるためにイベントなどをしてほしいと思う。
- 休み時間、昼休みの時間をふやしてほしい。1日1時間遊びたい。
- 休み時間を長くして授業の時間をへらしてほしい。
- みんなで楽しめるようなもの、みんなで協力できるものをいろいろふやしてほしい。
- 学校の始まる時間がもうちょっとおそくしてほしい。学校に行く時間をおそくしてほしい。
- 全校児童でおいごっことか色々したい。
- みんながやりたい遊びを2ヶ月に1回遊ぶといいなと思います。
- 1年生や2年生が遊ぶ遊具がほしい。遊具を新しくきれいにしたい。
- ロボットがほしい。一人一台ロボットがほしい。
- 教室をもっと広くしてほしい。あまり寒くならないかんきせんをつけてほしい。
- ランドセルでくるのじゃなくてリュック登校したい。リュックで行きたい。
- シャーペンで勉強したい。シャーペンを使いたい。
- 時間割を自分でえらびたい。
- クラブ活動の時間を週1回などにふやしてほしい。
- おかしをもってきてよくしてほしい。
- 遠足でユニバーサルジャパンに行きたい。
- 学校にパソコンのマウスがほしい。
- 学校に行かなくてもZOOMでみんなでつないで勉強する。オンラインをしてほしい。
- 私服がいい。
- 先生と話をする。
- 命の大切さをみんなにもっと知ってほしい。
- もっと人とコミュニケーションできる機会を増やしてほしい。その人に合った学習内容がいい。たとえば、Aくんは国語がとても得意、Bくんは国語がとても苦手、同じように国語の授業をするのは少し差があるかなと思います。絶対ではありませんが国語が多いけど、はやく終わる少ないけど長いのがいいなと思います。
- 授業をおもしろくしてほしい。

### 【アンケート結果より】

昨年度と同じような分布の傾向でした。③「委員会活動はみんなの役に立っていてやりがいがある」の項目が昨年度よりも大きく伸びています。また、⑪学習で協力、奉仕、助け合いについて学ぶことがある」の項目は、昨年度も10%伸びていたのですが更に今年は伸びています。高学年としてのリーダーシップをしっかりと発揮して、手応えを感じてくれた児童が増えたことがよかったと思います。⑩「大人になったときの職業(仕事)について考えることがある。」の項目は、昨年度は10%以上肯定的評価が伸びていましたが、一定程度マイナス評価の児童もいます。「キャリアパスポート」を取り入れて2年目、キャリア教育や社会について学ぶ機会をこれからも多く取り入れて行きたいと思います。

⑫「給食の時、栄養や食べ物について考える機会がある。」は34%の児童がマイナス評価です。栄養教諭による食に関する指導は全学級で計画的に機会を設けていますが、普段の給食を食べながらあまり考えない児童がいるということではないかと思いました。次年度は質問を「考える機会がある」から「教わる機会がある」に変えて食育の認知度を確かめたいと思います。また、D評価の児童が一定数存在することが気になります。児童一人ひとりの気持ちに寄り添った丁寧な指導をこれからも心がけてまいります。

自由記述については、感染症対策として計画通りできなかった「わんぱく班遊び」や「全校的な行事」の影響を感じます。また、学校設備に関する子供たちの希望、学習内容や授業について、また校時や学校のきまりにかかわることなどの意見がありました。なかなか子供たちの希望通りにはいかないものもありますが、子供たちの心の中を見せてもらえたことを今後の学校運営や学級運営の参考にしていきたいと思っています。